

# 第 30 回 BC 州日本語弁論大会

2018 年 3 月 3 日(土)

優秀作品集

BC 州日本語弁論大会実行委員会

この作品集は、参加者原稿を元に BC 州日本語弁論大会実行委員が編集したものである。

## 第30回BC州日本語弁論大会

日時: 2018年3月3日 土曜日 午前10時～午後17時

場所: Simon Fraser University

実行委員会メンバー: Rebecca Chau (UBC/ブリッティッシュ・コロンビア大学)

Noriko Omae (SFU/サイモン・フレーサー大学)

Ihwa Kim (UBC/ブリッティッシュ・コロンビア大学)

司会者: Christy Ho (SFU) & Marcus Wong (SFU)/Rachel Jung (SFU) & Eli Wang (SFU)

審査員: Mr. Kazuhiko Kadono (Listel Hospitality Group)

Mr. Hiroaki Okamoto (Kiyukai)

Ms. Kaori Okamoto (JALTA)

Ms. Akemi Takizawa (Killarney Secondary School)

Ms. Lisa Yasui (Richmond Secondary School)

Ms. Masumi Abe (UBC)

Mr. Choji Hayashi (Langara College)

Ms. Ritsu Muratake (Konwakai)

Ms. Yuri Naito (Douglas College)

Dr. Sharalyn Orbaugh (UBC)

出場者:

「高校部門 初級」

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1 Chloe Huang                  | Burnaby North Secondary School |
| コミュニケーションとは                    | <i>What is Communication?</i>  |
| 2 Kayla Price                  | Gleneagle Secondary School     |
| ペット                            | <i>Pets</i>                    |
| 3 Nopphawit Sirikulpattanaphon | Burnaby North Secondary School |
| 独り立ち                           | <i>Independence</i>            |

「高校部門 中級」

- |                      |                                  |
|----------------------|----------------------------------|
| 1 James Fangrui Chen | St. Michaels University School   |
| 自分への挑戦               | <i>Challenging Myself</i>        |
| 2 Tammy Mak          | Killarney Secondary School       |
| 忘れられない事故             | <i>An Unforgettable Accident</i> |
| 3 Jiayi Tao          | Queen Margaret's School          |
| 人間の責任                | <i>Human's Responsibility</i>    |

「高校部門 オープン」

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1 Pin Xuan (Jacey) Chen | Crofton House School                      |
| 伝えよう。今の気持ちを             | <i>Open Your Heart to Your Loved Ones</i> |
| 2 Kevin Xia             | Semiahmoo Secondary School                |
| 玉石混交                    | <i>Mixed Jades</i>                        |

「大学部門 初級」

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1 Alex Bullough-Klassen | Kwantlen Polytechnic University             |
| 日本語を覚える: 双子の場合          | <i>Learning Japanese: The Twins' Case</i>   |
| 2 Chi Lok Cheung        | UBC   |
| 現実の日本                   | <i>The Real Japan</i>                       |
| 3 Hannah Coleman        | UBC   |
| 大切なモブキャラ                | <i>Important Mob Character</i>              |
| 4 Shoni Coyle           | Langara College                             |
| 日本語と私の心の旅               | <i>Japanese and the Journey of My Heart</i> |
| 5 Crystal (Hongxi) Fan  | UBC   |
| 人生の絵                    | <i>The Drawing of Life</i>                  |

6 Leslie Ho	Douglas College
私は「ドラえもん」がいない世界にいる・・・	<i>I live in the World without Doraemon</i>
7 Michelle (Mikyeong) Kim	Langara College
隠れた幸い	<i>Blessing in Disguise</i>
8 Jiahao Niu	UBC
ハーモニー ~演歌と J-POP~	<i>Harmony ~ Enka and J-pop ~</i>
9 Kyoungmin (Kelub) Roh	UBC
見えない花	<i>The Flower You Have Missed</i>
10 Nova Siu	Langara College
ロボティクスの夢	<i>Ambition for Robots</i>

### 「大学部門 中級」

1 Karrie Cookhouse	University of Northern British Columbia
まちがいをおそれないでください	<i>Please Don't Be Afraid of Mistakes</i>
2 Xinyan Hou	UBC
成功の秘訣	<i>The Secret of Success</i>
3 Kristine Hui	UBC
犬のおかげで	<i>With the Help of a Dog</i>
4 Iris Liao	UBC
「迷惑をかけてはいけない」	<i>“Do Not Trouble Others”</i>
5 Xiuyi Liu	UBC
墨の香りの中で	<i>In the Fragrance of Ink</i>
6 Jana Salameh	UBC
家族内の異文化	<i>Cultural Difference with My Family</i>

### 「大学部門 上級」

1 Rock Gao	UBC
私たちのたどり着くべき場所	<i>Our Destination of Life</i>
2 Alisa Guo	UBC
日本社会の残業問題	<i>The Japanese Social Issue of Working Overtime</i>
3 Jack Hwang	UBC
無関心は幸せをもたらさない	<i>No Interest, No Happiness</i>

## 入賞者

### 「高校部門」

初級	第1位	Nopphawit Sirikulpattanaphon	ひとり立ち
	第2位	Chloe Huang	コミュニケーションとは
	第3位	Kayla Price	ペット
中級	第1位	Tammy Mak	忘れられない事故
	第2位	Jiayi Tao	人間の責任
	第3位	James Fangrui Chen	自分への挑戦
オープン	第1位	Pin Xuan (Jacey) Chen	伝えよう。今の気持ちを
	第2位	Kevin Xia	玉石混交

### 「大学・一般部門」

初級	第1位	Shoni Coyle	日本語と私の心の旅
	第2位	Jiahao Niu	ハーモニー～演歌とJ-POP～
	第3位	Crystal (Hongxi) Fan	人生の絵
	特別賞	Michelle (Mikyeong) Kim	隠れた幸い
中級	第1位	Xiuyi Liu	墨の香りの中で
	第2位	Iris Liao	「迷惑をかけてはいけない」
	第3位	Jana Salameh	家族内の異文化
	特別賞	Karrie Cookhouse	まちがいをおそれないで下さい
上級	第1位	Jack Hwang	無関心は幸せをもたらさない
	第2位	Alisa Guo	日本社会の残業問題
	第3位	Rock Gao	私たちのたどりつくべき場所

## 独り立ち

僕は今や遠く離れている両親に絶大なる信頼を得ている。小さいころ、僕はいたずらっ子で、じこ中心的な子供だった。自分が欲しいものは何でも手に入れようとした。いつも他の人と比べて、なんでも羨ましがり、嫉妬を感じた。しかし、そうした期待が裏切られていくうちに、現実がだんだんわかってきた。そして期待は小さくなっていった。それが、のちの僕のカナダ生活を助けることになった。

カナダに来て以来、僕は以前より成熟したと感じる。ひとりでカナダに来て、知らない家でホームステイをしながら、学校に通って、もう4年近くになる。カナダで得た、大きいものはふたつ、空気汚染でひどかったアレルギーが改善されたことと、いがいにも独立心がおうせいになったことだった。よく留学生は友だちができなかったり、家族と離れてさみしかったりして、ホームシックになる。実際、同じ学校のタイの友だちが、それで帰国した。でも僕は一人であることをなんとも思わない。たくさんの友達もいない。だれとでもなかよくするけど、多くを期待しない。ほとんどの人はこれができないようだ。

またタイでは、いつも「宿題をしたの?」「じゅくにいきなさい。」とか、周囲にいろいろ言われるけど、ここでは誰も何も言わない。何もかも、自分からしなければ、誰も何もしてくれない。いつの間にか、自分で考えて、自分で実行するくせがついた。いつのまにか、自由は責任をとまうものということを知った。僕は責任感がまし、他の人には敬意を表すようになっていった。

今年、僕は高校を卒業する。ゆめはいろいろあったが、今はそのゆめをおいかけるのではなく、代わりに、現実的な目的やゴールを考えている。大学を卒業したら、日本に行って、働くことを決めた。カナダで日本に興味をもったので、実際に行ってみたいと思ったのだ。両親は、学校も頑張っている僕を信頼して、好きにしてよいと言ってくれる。カナダで独り立ちできた僕が、日本に行ったら、どんなものに出会い、どんな自分が生まれるかを知るのはとても楽しみだ。

コミュニケーションとは

「あなたは いつも しゅっちょう ばかりで、かぞくといっしょにいたことがほとんどないじゃない。」

「ぼくは かぞくのためにいっしょうけんめいはたらいているんだ。」

「かぞくはいしょにくらすから、かぞくなのに、いつも この家で、むすめと私 ふたりだけなのよ。なんでかぞくといっしょにしようとどりよくしないの。」

父は しごとで、バンクーバーとちゅうごくを よくおうふくしてはんとしちかくるすをします。母は かじをして、ときどき ちゅうごくの そふ とそばのせわをしにっていました。私は ちいさいころから、りょうしんがいっしょにいるのをみたことがあまりありませんでした。いつも、母と 私か、父と 私の二人でした。いまでもそうです。ちいさいときは あまりきがつきませんでした。せいちょうするにつれ、ふしぎにおもっていました。そんなわたしのりょうしのあいだのきよりはおおきかったようです。

しだいに二人はおたがいを りかいすることが むずかしいく なっていました。ときどき、さまざまなもんだいをかいけつしようと、はなしあっていましたが、おたがいに相手の話をきかないのです。そして、ときにはりょうしのけんかは、つまらないことから始まり、それが、おおきくなって何日もつづくのです。どなりあったり、ののしりあったりしていました。なんにちも 口をきかなかつたりもしました。みみを おさえて、ドアをしめていても、まだりょうしのけんかがきこえてきました。ちいさかったから、なにもかもがこわかったです。

でめしだいに、私もせいちょうし、りょうしのなかをとりもつようになりました。そして、二人もじよじよに あんてしてきました。

親のけんかを見ていて、人との コミュニケーションは たいせつだと思いました。ほかの人のかんがえかたとちがうのをみとめて、うけとめるのをむずかしいです。そしていまのじだいはコミュニケーションのいきちがいで、わるいことがよくおこります。こんな小さなかぞくでもそうなのですから、ひとのいけんをちゃんときいて、りかいしあわなければいけないと、みじかなりょうしんから、私は学びました。

## ペット

犬は人々の1番良い友達と言われています。

動物とペットは大好きですね。親切と元気と面白いです。アヒルと犬と猫は私のお気に入りです。私のペットは犬と猫です。私の友達、マイリちゃん、ペットは3匹の猫と金魚です。私の友達はペットを持っていない、でも彼らは好きです。私の学校のペットはクモです。クモの名前ロシーです。クモは怖いと小さいです。ペットは嬉しいと楽しいです。ペットは私を幸せにする。週末に私は犬と歩いて海に行きます。私の犬は犬の食べ物を食べます。私の犬の名前は ウェルシーです。私の猫の名前は ピンバールです。ピンバールは猫の食べ物を食べます。ウェルシーも猫の食べ物を食べます。

私の家に誰かがいたら私の犬は親切にほほえて挨拶します。その後私の猫はうれしくにゃーにゃーします。

私のお母さんは犬を歩く。私は時々一緒にさんぼします。それは楽しいです。私のお母さんの犬はふわふわです。彼らは私を好きです。彼らは幸せな動物です。犬は時々大声です。犬も時々静かです。私のペットはよく静かです。これはいいですね。

ペットフードは高いです。ペットは食べ物がたくさん食べますので大変費用がかかります。犬のエサは猫のエサより高いです。

ペットは私の友達です。犬と猫は仲がいいです。私のペットは可愛いですね。動物の中に一番好きなのはペットになでる動物です。

忘れられない事故

皆さん、おはようございます。タミーです。高校三年生で、キラニー高校に通っています。皆さんはこんな経験がありますか？他の人の不幸な事を聞いた時に、私は彼らはかわいそうに思っていました、一方で、私がそれに遭遇するとは思っていませんでした。私はそう考えていました。しかし、人生の運命は誰が予想できますか。

去年十一月、予想できないことが私に起こりました。私がいつものように学校から歩いて家に帰る時、突然、一瞬目の前が真っ暗になって意識がなくなりました。気づいた時、私は何処かで横になって空を見ていたと気づきました。おかしい？なぜ風景は動いているの？えっ？如何して傘は頭の上に飛んでいるの？待って！私は家に帰っていた途中じゃなかったんですか？なぜ頭が痛いのか？あっ！そうだ、私は車にひかれたんだ。私は凄いいきよいで車の前に飛ばされましたが、車は止まりませんでした。そして、車の横から道路に転がり落ちて、再び意識を失いました。全ては映画のスタントショットのようなものだった。でも、私は俳優ではなく、最後には救急車に連れて行かれました。

元々大学にはいる準備をしていましたが、突然事故にあって予定が全部遅れました。この事故は、身体的な痛みを受ける以上に、大きな心のストレスを感じていました。怪我をした後、毎晩よく眠れなく、食欲不振になりました。医者には十分な休みを取らなければなりませんと言われました。実際に何もできない状態でした。これは私にとって大きなチャレンジでした。心身ともに克服しなければいけないことがたくさんできました。ですけれども、私は雨の後は晴れると信じています。幸運にも、私を愛している人達がいました。みんなの支えによって、私は困難を乗り越えることができました。人生の気まぐれをきずきました。不幸なことが起こった時、文句をいうより、今あるものを大切にしたい方がいいと知り、今を精一杯頑張っ、しっかりチャンスを逃さない方がいいと知りました。今度は私の経験を皆様と共有できて幸いです。

## 人間の責任

こんにちは、今日は 人間の責任についてお話しします。

私が小学校四年生の時の事です。家で留守番をしていた時、突然、「にゃー、にゃー」という声が、台所の方から聞こえてきました。気になって、台所へ行ってみると、汚れた子猫が 地面に横たわっていました。恐らく、飼い主が私の家の庭に置いてある、野良猫用の餌を見て、窓から投げ入れたのでしょう。私はとても驚いて、どうしていいかわからず、母に電話をしました。母の帰りを待っている間、子猫の様子を観察してみると、すぐに 前の飼い主から ひどい扱いを されていたのだと わかりました。片方の目は目やにで開いておらず、体にも傷があり、毛も汚れていて、とても弱っている様子でした。しかし、もう片方の目を見てみると、とてもきれいな緑色の宝石のような目をしていました。そして、この猫を私が育てようと 決めました。

今では、すっかり元気になって、母の元で暮らしていますが、もしがしたら、この猫は飼い主の無責任により、死んでいたかもしれません。

実際にデータを見てみると、近年、アメリカでは野良猫の数は五千万匹を超えていると言われており、日本でも、平成 23 年のデータでは、東京都だけでも、八万匹以上の野良猫がいると推計されています。この中で、一体何匹の猫たちが健康な状態で暮らしているのでしょうか？この野良猫の問題は、猫自身だけではなく、社会や、人々の生活にも影響をかけています。

この悲しい現実を少しでも改善すべく、個人で野良猫の保護活動をおこなっている女性のブログを見た事があります。彼女に保護された野良猫たちは、ほとんどが人間に捨てられた猫でした。また、世界では、TNR(trap- neuter-return の略)という野良猫問題を解決するための組織があり、日本にもこの組織は存在しています。この組織は、野良猫の保護や、里親を見つける活動などをしており、こういった活動のおかげで、現在日本では、飼い猫の 45%ほどが元野良猫だという成果もデータに現れています。人間の無責任な決定は、また、皮肉なことに、人間のかいざいなしでは、解決できないのです。

野良猫に対する問題だけではなく、何事においても、責任を果たすということは、人間として生まれた私たちの重要な役割です。相手に対する思いやりさえあれば、実は、責任を果たすことはそんなに難しいことではありません。一人一人が 責任を果たすことで、世界がよりよくなっていくこと、願っています。

### 自分への挑戦

私は子供の頃、とても恥ずかしがり屋で、間違えることや、人に迷惑をかけることが大嫌いだった。しかし幸運なことに、小学生の時、素晴らしい先生に出会った。この先生は子供の人格形成を重視し、私の性格を克服させるため、ある冬休みに、特別な課題をくれた: それは「10回拒否される経験をする事」だった。

その後、家にこもって、この課題をどうやって終わらせようかと考えた。母は私の様子を見て、気分を紛らわせるために、あるレストランに連れて行ってくれた。そこでは、いつも静かな音楽の生演奏があった。食事しながら、長いこと迷った末、演奏者にロックを演奏してもらえないか聞いてみた。当然のごとく、ことわられた。私は顔を真っ赤にして、すぐその場から逃げた。母にその話をすると、母は笑って「でも、大したことじゃなかったでしょう」と言った。私ははっとした。今まで自分は何を恐れていたのか? 人から拒否されても、それほど大したことではないのだ。

それが分ると、速く残りの課題をやり終えた。校長先生の役職に付かせて欲しいと頼んだり、ケンタッキーでビーフバーガーを注文したりした。その冬休みの後、先生は私の人生を変える名言をくれた: 「間違いを恐れず、挑戦し続ければ、その後、大切なことを見つけるでしょう」。

私はこの言葉をいつも心に抱いて、挑戦の旅を始めた。中学校でわずか三年間英語を学んだ後、一人でカナダに留学した。日本語をわずか二カ月間勉強した後、日本へ交換留学した。知らない国で新しい言語を学ぶことは私が一番不安に思うことだったが、今では、そうした経験をする事に、楽しみさえ見だしている。そして、今、私はまさに第三言語でスピーチをするという新たな挑戦を終えようとしている。やった! 皆さんも恐れていることや、不安に思うことに挑戦してみてください。その後、きっと驚くような、素晴らしい何かを見つけるでしょう。

つたえよう。いまのきもちを

皆さんには、大切な人に気持ちを伝えたことがありますか？

今年の冬休み、日本のあるテレビ番組を見ました。その番組は、日本全国から選んだお爺さんお婆さんに「若い時の自分へのメッセージを伝えてください」とお願いしたものでした。その中の一人のお爺さんの24歳の自分へのメッセージです。そのお爺さんが若い時の自分に「付き合っていた女の子が病気で亡くなっちゃうから、ちゃんと結婚したいという気持ちを伝えろ」と言いました。「その時の自分は、自信がなかったので、結婚したいという気持ちを彼女に伝えられなかった。でも、2年後に彼女は病気で亡くなってしまった。その時は、すごく後悔し、悲しくて76歳になってもずっと独身のままだ。」と残念そうに話していました。

もう一つは最近見た日本のアニメです。そのアニメの名前は「四月は君の嘘」と言います。主人公の男の子と女の子はお互いに好きなのに、ずっと告白しませんでした。結局、女の子が病気で死んでしまいます。女の子が亡くなったあと、彼女の両親が男の子に手紙を渡しました。彼女の気持ちがやっと分かった男の子が、涙を流しました。やっと心が通(つう)じたのに、彼女はもういませんでした。

この様(よう)に、私達には、予測(よそく)できないたくさん別れがあります。例えば、ずっと長い間の友達と喧嘩をして別れたり、急に家族が病気になったり、不意の事故で恋人と会えなくなったりすることがあります。その時に、「なんでこんなことを言ったのだろう」とか「もっと早く自分の気持ちを伝えたらよかったのに」と後悔することになります。

また、私には祖父との悲しい思い出があります。

12歳の夏休み、中国の故郷(こきょう)に帰って、父の実家で過ごしました。その時は、近所(きんじょ)の友達と遊んでばかりいて、祖父(そふ)とあまり話しませんでした。祖父がよく「一緒にご飯食べよう」と言ったけれど、「ごめん、友達と外食する予定があるから」と断りました。実際は、久しぶりで、恥ずかしさと照れくささがあって、祖父と一緒に話をしたかったけれど、素直にできませんでした。そして、6ヶ月後の中国のお正月に、祖父は亡(な)くなりました。お墓(はか)の前に立った私は、昔祖父と過ごした時間を思い出し、すごく後悔して、涙が止まりませんでした。「ちゃんと祖父と話したり、ご飯を一緒に食べたりすればよかった」と思いました。

最後に、人生には、不意(ふい)な事故や 予期(よき)しない別れがたくさんあります。だから、恥ずかしがらずに、相手を思う気持ちを素直に伝えることが大切だと思います。

## 玉石混交

皆さんは、インターネットの情報を信じますか？ 私たちが毎日使っているインターネットの情報は無限大です。その無限大の情報の、特にその正確さについて、私は質問を投げかけたいと思います。まず、その情報源を考えてみましょう。真実は一つのはずなのに、人々が自分の考えを加えた表現でインターネット上に載せるので、その真実は少しずつ形を変えていきます。私たちが目にする情報は、オリジナルではなく、操作されている情報かもしれないということに、ほとんどの人が気づかないところが、私は危険だと思います。例えば、誰もが信じる新聞情報でさえ、新聞としてのニュース記事とオンラインのニュースサイトの記事とでは、取り扱う内容が違うだけでなく、情報の正確さの違いさえあります。どうしてこのような違いがあるのでしょうか。インターネットのニュースサイトには、たいてい、広告があります。読者がその広告をクリックすると、収入になります。そのために、読みたくなるような記事を魅力的に書き、読者を惹きつけようとするので、情報の正しさは二の次にされてしまいます。この問題は、ニュースサイトだけではなく、Facebook や Twitter のようなソーシャルメディアでも同じです。広告料のために根拠のない情報源から記事を書いたり、情報の一部だけを大きく取り扱ったりする場合がありますということを前提に、私たちは記事を読むべきだと思います。

ネットリテラシーという言葉聞いたことがありますか？簡単に言えば、インターネットの情報を使いこなす能力のことです。ネットリテラシーが低い人は、情報を鵜呑みにしてしまうので、フェイクニュースに騙されやすくなります。一方、ネットリテラシーが高い人は、フェイクニュースを見ても、嘘だと気づくか、本当かどうかを確かめようとします。これからの時代を生き抜く私たちが必要なのは、ネットリテラシーを上げ、情報が正しいか正しくないかを判断するスキルを身につけることだと私は思います。

日本には、ネットリテラシー検定試験というものがあることを私は最近知りました。大変、意識が高く、素晴らしいことだと思います。インターネットは日々進化しています。新しいサービスが出てくる中で、今までの知識や経験、常識では対応できないものも増えています。知らないせいでトラブルに巻き込まれたり、自分がトラブルを起こしてしまわないように、自分のネットリテラシーを高めていきましょう。インターネットの情報は玉石混交です。その中から、自分で正しい情報を選ぶ知識と判断力を身につけ、ブレない軸を持ち、自分自身だけではなく自分の周りの人を守ることができるようになりたいと思います。

日本語と私の心の旅

皆さんは社会的不安障害という言葉を知っていますか？私は子供の頃からこの障害を乗り越えようと頑張ってきました。この障害を持っていると、人と話す事が怖くなって、人とつながりを持てなくなるのです。私は学校ではクラスに参加する事も友達を作る事も出来ませんでした。外に出かけるのが怖かった時もありました。でも、大人になって、家族やカウンセラーの人達が私の支えとなってくれました。苦しい時もありますが、今ではそのおかげで友達を作って社会に参加できるようになりました。

でも、家族やカウンセラーの人達以外に、もう一つ私の障害を乗り越える事を手助けしてくれた物があります。それは日本語の勉強でした。人と目を合わせて会話をする事が出来なかった私は、まず自分の言葉、英語で他の人と会話をする事を学ばなければならなかったのですが、どういわけか、日本語に興味を持ってしまったのです。もともと、アニメなど通じて日本には興味があったのですが、アニメの中で聞こえてくる日本語がとても面白いと思ったのです。はじめは単語を覚えたり、あいさつの仕方や面白い言葉をくり返したりするだけでしたが、一つ一つ言葉の意味がわかってくると、今度は「言語」とは何なのだろうかと考えるようになりました。それに、同じ物が違う言語の間でどうして全然違う単語になるんだろう。そう考えると日本語の勉強がますます面白くなってきました。私はいつもまず英語で考えて、日本語の言葉を使っていました。そのうち、はっと気がつきました。日本語だけで考えて日本的に話せば、日本語の音と自分が考えている意味が一つになる！私はなんだか、暗い部屋から急に明るい場所に出たような気がしました。

そして、それが日本の文化や歴史についても考えるきっかけになりました。英語を話す文化しか知らなかった私は英語を話す事からは見えない別の考え方がある事に気がつきました。そして、私には空気を読んで話す日本的な考え方が自分の性格に合っているのではないだろうかと思いました。社会的不安障害と戦ってきた私には正面から挑戦される話し方よりも、私の背中を押してくれる話しの方が勇気を与えてくれて、人との会話を楽しめる気がします。日本語の文化を知る事が私の心の扉を開いてくれました。私の事を支えてくれた両親やカウンセラーの人には毎日感謝しています。そして、私の成長を助けてくれた日本語にも心からありがとうと言いたいと思います。

ハーモニー ～演歌とJ-POP～

皆さんは紅白歌合戦を聞いたことがありますか？紅白歌合戦は、<sup>せんきゅうひやくごじゅういち</sup>1951年からNHKが毎年のおおみそか大晦日に放送している大きな音楽番組です。人気のある歌手を招待して、女性は紅組、男性は白組に別れて、演歌とJ-POPが交替で出演します。紅白の舞台上、新しい文化は古い文化に会って、ハーモニーを奏<sup>かな</sup>でます。

しかし今、日本の若者は演歌はあまり好きではなくて、J-POPだけをよく聞いているそうです。高校生になった時、J-POPが好きな友達がいて、時々私にシェアしてくれました。今も私はよくJ-POPを探します。椎名林檎のジャズや、パフュームのエレクトロや、平井堅のポップなどジャンルがたくさんあって、品質<sup>ひんしつ</sup>も高いです。櫻坂46の不協和音は、メロディーも振り付けも格好いいですから大好きです。さらに、エメーの<sup>ろくとうせい</sup>六等星の夜は歌詞が美しいと思って、いつも何回も繰り返し聞きます。大抵テーマは同じ恋愛ですが、ジャンルによって、違う経験ができます。

でも一方で、14歳の時、私は偶然に<sup>ひかわ</sup>氷川きよしの「ちょいときまぐれ渡り鳥」を聞いた時、この独特な歌い方を一瞬にして気に入ってしまいました。そこで、私は演歌も探し始めました。時代は変わりますが、いいものは消えません。有名な演歌が今でもたくさん聞けます。今大好きな歌は石川さゆりさんの<sup>あまぎこ</sup>「天城越え」です。「誰かに盗られるくらいなら、あなたを殺していいですか」という歌詞に共感を覚えます。石川さゆりさんは悲しい声で心が痛む歌詞を歌っていて、聞くだけで悲しい事を思い出します。だから、友達に推薦してみましたが、みんなは古そうだと言って、私の気持ちを分かってくれませんでした。

演歌は明治時代から始まり、今まで百年ぐらいの歴史があります。演歌は、「ヨナ抜き」という音階を使用して、大抵「涙・女・別れ・雪」と言うテーマで、<sup>せんめい</sup>鮮明な演歌の<sup>とくちゆう</sup>特徴を作っています。そして、常に心から切ない感情や真剣な心情などを表現するのです。特に女性歌手は、<sup>きよく</sup>曲のイメージに合った着物を着て、日本的なイメージを<sup>あらわ</sup>表しています。歌を聞いていると、雨が降っている日に和風の橋の上に立って、下に流れる川をじっと見ているイメージが頭の中に<sup>わ</sup>湧き上がります。

演歌とJ-POPには、違いがたくさんありますが、お<sup>たがい</sup>互いにハーモニーを奏<sup>かな</sup>でて、両方とも日本の文化の代表になりました。歌詞やメロディーから、日本が溢れています。新しい日本文化や音楽を体験するために、皆さんもっとたくさん聞いてみてください。

## 人生の絵

私はUBCで勉強している留学生です。初めてカナダに来た時、家族に会えないし、友だちもないし、とても寂しかったです。「ここに来なくても良かったのに」と思って、落ち込んでいました。それから長い時間、私の昔からの生活を変えて、カナダに来る理由を探していましたが、何の答えも出ませんでした。こうして、私はずっと後悔して、留学を諦めようと考えました。

多分私の悩みを感じたから、友達と両親はすごく心配して、私の話を聞いてくれました。「過程は結果よりもっと大切だよ、自分で百パーセント努力して、将来後悔しないなら、十分だよ！」って、言ってくれました。みんなの言葉の中に、信頼と励ましを感じて、頑張る勇気をもらいました。昔の生活にはもう二度と戻れないから、辛くて難しいけど、私は新しい生活の意味や将来の希望を探してみても、ついに受け入れてみました。もしその時あきらめていたら、今私はここに立つことができなかつたでしょう。

カナダに住むことは新しい真っ白なページです。何も知らないから、真っ白なページに何か描くことがすごく難しかったです。でも、その時に、一番簡単な点から始めて、ゆっくり次の点を探してみました。それから、点と点をつないで、初めて線になるでしょう。初めて描くから、もちろん時々間違ふところがあるかもしれないですが、それはぜんぜん大丈夫です！他の人に手伝ってもらって、間違ふところを相談すれば、新しい点が見つかるはずですよ。毎日の生活に色々な点があつて、嬉しい点も、悲しい点も、だんだんつないでいくと、たくさんの線になります。初めの一点から、線を交差させて、その後、線と線の間にかわいらしい色を塗っていきましょう！カナダの友達と一緒に遊ぶ楽しい思い出は赤、家族に会えない悲しい思い出は青、自分の夢の色は一番ピカピカの金色を選びます。最後に、真っ白なページはしきさいゆたかな絵になるはずですよ。この絵の名前は『私の人生』です。

私たちは、毎日新しいことや悩みに直面しなければいけません。自分の目標がどんどんなくなつて、将来を迷うこともあるでしょう。その時、私たちは落ち込んで、辛くて、どうすればいいのかがわからなくて、ついにあきらめようかと考えるでしょう。でも、簡単に諦めないでください！私達の毎日はパレットみたいな生活です。そこには日本語を勉強することやスポーツをすることや、多くの色があります。私たちは自分の人生の画家として、最高の作品のために、もっと新しい色や美しい色を探し続けています。そして、この新しい色、つまり可能性を見つける勇気があつたら、自分がゆたかになれると信じています。私は今はもう泣きません。昔の自分とくらべて、強くなりました！今のページにはもうたくさんおもしろい色があります。昔の青い色もありますが、もう少なく消えていて、もっとあたたかい色が多くなっています。

かく さいわ  
隠れた 幸い

わたし たちはいろいろな事を計画します。でも、全てが計画どおりにいくわけではありません。みなさんは“塞翁が馬”  
 という言葉を聞いた事がありますか。人の幸運や不幸は予測できないという意味です。私の記憶の箱にはいろいろ  
 な事が詰まっています。長く覚えておきたい事や考えたくない事はいっています。そのような経験の中で忘れら  
 れない事が二つあります。あなたの幸運も姿を変えているかもしれないので、私の経験について聞いてください。  
 ある日、私はサンプンというテパートに買い物に行くつもりでした。でも、デパートに行くために、車のエンジンをか  
 けようとしていた時、車のバッテリーがあがってしまいました。修理工が来て修理してくれましたが、2時間ぐらいか  
 かってしまいました。でも、デパートから帰る時のラッシュアワーが気になって、デパートに行くのをあきらめました。そ  
 のかわりに、母の家へ行って昼ご飯を食べる事にしました。そして、テレビを見ていた時、このテパートが崩壊したと  
 いう事を知りました。多くの人が大怪我をして、亡くなった人もたくさんいました。私もその中の一人であったかもし  
 れません。実は一見よくない事が起こった様でも、そのおかげで、後で、結果が良くなった様な事はよく起こります。  
 もう一つの経験について話します。2001年の夏から、英語の勉強をするためにアメリカのニューヨークへ留学しよ  
 うと思っていました。TOEFLとGREを受けて、ニューヨークにある大学から合格のメールも送ってもらいました。私  
 は留学の準備が終わったと思ったのですが、ビザが出ませんでした。英語を勉強するのなら、アメリカだと思っていた  
 ので、挫折してしまいました。それで、バンクーバーで英語を勉強しようと思いました。しかし、学校がはじまって、  
 一週間くらいたったあと、ニューヨークで、9 1 1テロが起こったのです。アメリカに行けなかった時、私は不幸だと  
 思っていました。結果的に、悲劇を避け、バンクーバーに來られてよかったですと思いました。それから、私は勉強  
 だけでなく、カナダに移民をして仕事をするようになりました。それに、今、日本語も勉強しています。  
 “塞翁が馬”という言葉は 良い意味にも悪い意味にも解釈する事ができますが、何が起こってもポジティブな方に  
 解釈するのが大切ではないでしょうか。なにが幸いとなるかはわかりませんが、その 本当の意味をどう 考えるか  
 は、あなたの 解釈によると思います。他の角度から問題を見ると、解決方法が見えたり、ちょっと待ってみると、も  
 っと良い方法が見つかるかもしれません。ですから、何か失敗しても、自分は不幸だと 考えるのはやめましょう。  
 不幸の中に幸運が隠れているかもしれませんよ。

## 墨の香りの中で

みなさんはストレスや悩みがあるとき、何をしますか。運動しますか、それともゲームをしますか。私は…そういうこともしますが、実は書道をします。書道というのは簡単に言うと字を書くことです。でも、書道は毛筆を使います。その筆に墨をつけて、特別な紙に字を書くのが書道で、そして、それが私の趣味です。

私は子供のときから祖父の影響で書道を始めました。でも、机の前に何時間も座って、字を書くより、私は友達と外で遊びたかったんです。祖父は私を机の前に座らせることを諦めて、私を書道教室に行かせてくれました。それから、私はだんだん書道が好きになりました。筆の持ち方や字の書き方はもちろん、先生から中国の歴史や礼儀も習うことができました。

書道にはたいてい五つの書体があります。私が一番好きなのは隷書体です。隷書体は日本のお札にも使われている書体で、とても美しく、バランスのいい書体です。日本語のクラスでは、いつも漢字を四角いマスの中に同じ大きさで入れなさいと言われますよね。隷書体を書くときも四角いマスを使いますが、字を同じ大きさで書いてはいけません。それぞれの字の特徴を捉えて、違う濃さや太さを筆に表現して、気持ちを込めながらリズム感を出すのです。そのリズム感は気分によって変わるので、毎回書いたものは違います。文字がまるで兄弟のようによく似ていたり、違ったりして、生きているようです。

私はもう書道教室に行っていないませんが、心がざわついているような時に書道をします。静かな部屋で墨をすると、その墨の香りがシャーシャーという音の中からあふれてきます。筆に墨をつけて、紙に上から下、右から左、へとゆっくりおろします。墨の香りを嗅ぎながら、目の前の小さな紙にすべての神経を集中すると、雑念がどこかに消えて、心を無にすることができます。作品が完成したときのその爽やかな気持ちは、普段の生活の中ではなかなか感じられません。不思議なことに、ストレスや悩みがすーと消えます。

毎年、夏休みに祖父に会いに行ったら、祖父と一緒に書道をするのが楽しみです。練習が終わると、いつも祖父から私の作品や私の問題についてのアドバイスをもらいます。それを聞きながら、書道という、祖父が大事にしているものを私が受け継ぐことに「責任」のような気持ちも感じています。

今の忙しい社会では、筆を持つ機会が少なくなっています。書道をするには準備する時間がけっこうかかります。だから書道をするより、ゲームみたいなもっと手軽な趣味を持つ人が多いのは当たり前です。私もゲームをするのが好きですが、やはり書道をする方が心が落ち着きます。ゲームばかりするのではなくて、書道のような伝統的な、そしてちょっと時間がかかるものを趣味に加えることで、もっとバランスの取れた心を持つことができると思います。

それに、書道をすると、いくつかいいことがあります。まず、字が上手だと、日本語の先生に褒められます。そして伝統的な文化や礼儀が理解できます。みなさんも、一度、墨をすってみませんか。そして紙を目の前において、筆を持って、墨の香りを嗅ぎながら字を書いてみてください。みなさんなら、どんな字をその紙の上におろしますか。

「迷惑をかけてはいけない」

皆さん、こんにちは。

今日は、私が日本で生活していた間、受けたカルチャーショックについてお話をさせていただきたいと思います。

私は、去年の夏に、早稲田大学に勉強に行きました。それで、東京に一ヶ月ぐらい住んでいました。その一ヶ月間、毎日楽しく暮らしていましたが、驚いた事もたくさんあって、日本についての印象もだいぶ変わりました。

まず、「人に迷惑をかけてはいけない」という日本の独特な文化を強く感じました。もちろん、留学に行く前も、日本人はとても礼儀正しいということを知っていましたが、こんなにたくさん<sup>あんもく</sup>暗黙のルールがあるとは思わなかったのです。

例えば、他人の邪魔をしたくないので、電車の中やレストランでは携帯電話を使わないことになっています。こういう独特なマナーが日本にはたくさんあるそうです。更に、女性に対しては、礼儀がもっと厳しそうです。例えば、女性が何か食べる時口を大きく開けてはいけないのです。それで、ハンバーグとか、ピザとか食べ難いから、女性用の食べ物さえ発明されました。初めてそういうことを聞いたとき、「えええ、嘘でしょう」と、思わず口に出してしまいました。

勿論、その独特な社会文化のおかげで、日本は礼儀正しいことで有名な国になったんですが、その結果、たくさんの社会問題も起きたと思います。守らなければならないルールがたくさんあるから、ストレスがたまってしまい、精神的な病気になる可能性が高いと思います。

私は、毎回電車に乗ったときそう思いました。私はその時毎朝8時くらいに家を出て、二、三回電車を乗り換えて、学校に行きました。電車の中は動けないくらい込んでいるのに、誰も喋らないから、とても静かです。私は目の前の人にキスされそうな距離に立っていて、その状況にどうしても慣れることができませんでした。そして、どんな暑い日でも、男性の社会人たちはほとんど同じようなスーツを着ていて、無表情で、まるでロボットのような感じです。

私は、生まれて初めてそんな電車に乗ったとき、凄くプレッシャーを感じました。

それだけじゃない。他人に迷惑をかけてはいけないので、日本人はあまり感情を顔に出さないということに気がつきました。日本には「本音と建て前」という文化があるので、日本人の友達と話す時、相手の本当の気持ちが分からない時もよくあります。

印象が深かったのはビジネスのクラスで、私は日本人二人と中国人一人で、グループディスカッションをした時、日本人のメンバーはいつも私の意見を聞いてくれましたが、あまり自分の意見を言わないことに気がつきました。私と違う意見を持っていた時も、私の気持ちとグループの雰囲気<sup>雰囲気</sup>に気を配って、直接何も言わず、迷った様子を見せながら、結局私の意見に賛成しました。そして、私とほかの中国人のメンバーと議論していた時、多分言い方が強すぎたからでしょうか、「喧嘩しないで」というような困った目で見られました。

私の気持ちを考えてくれるのありがたいですが、私にとっては、相手の本当の気持ちが分からないし、ディスカッションの意味がないだけでなく、人と人の距離が凄く遠いということも感じました。

日本で一ヶ月間生活した後、日本ではなぜ自殺率が高いのかということが多少分かりました。ストレスが多過ぎると、いつか爆発します。私は、ほかの人に迷惑をかけても大丈夫というときも時々あると思います。人間にとって、心の中にあるほんとうの気持ちを少しぐらい出した方が、健康に良いと思います。

日本は今でも私が大好きな国です。でも、人と人の距離感が少しでもなくなれば、もっと温かい住みやすい国になると思います。

## 家族内の異文化

さあ、みなさんに質問です。私の出身はどこでしょう。私の両親は異なる国で生まれ育ちました。母はドイツで、父はレバノンです。レバノンは中東にある国です。あまり知られていませんが、公用語はアラビア語とフランス語です。また、アラブ諸国の宗教は、必ずしもイスラム教とは限りません。父は大学生の頃、海外でこうがくを勉強していましたが、レバノンで内戦が起っていたので、家族を心配し、卒業後帰国しました。その時に、レバノンでジャーナリストとして働いていた私の母と出会い、二人は恋に落ちたのです。結婚後、両親はいい環境で子供を育てるために、より安全なドイツに渡ることになりました。そして、そこで兄と一番目の姉が生まれました。しかし、父はドイツ語が話せず、工学に関係がある仕事も見つからなかったため、カナダに移住しました。カナダは多文化を尊重し、世界中から移民を受け入れていましたので、二番目の姉と私が生まれた後、家族みんなでカナダ人になることに決めたのです。ドイツ人の母とレバノン人の父を持つ私たち兄弟は、一人ひとり見た目が違います。例えば、二番目の姉は赤毛で白い肌をしているため、何も言わずともヨーロッパ人だと思われて、旅行中はよくヨーロッパ言語で話しかけられます。しかし、私の方は髪の毛も肌の色も濃いので、ムスリムだと思われることが多いです。

家ではドイツ文化とレバノン文化が混在しています。クリスマスも祝いますが、イスラム教のラマダンの時期、家族全員が断食をします。また、兄妹はそれぞれ異なった宗教観も持っています。一人の姉はクリスチャンですが、もう一人は厳格なムスリムです。私はこのような多文化の環境の中で育ったおかげで、他の文化や慣習について理解することができるようになりました。そして、まだ見知らぬ場所についても、興味を持っています。これが日本語と日本文化を学ぶに至った理由だと思います。私は去年の夏、短期留学をあっせんする会社で仕事をしました。私は日本の高校生にカナダの文化を紹介しました。最初は、多くの学生はカナダ人という皆が青い目をした白人だと思っていたようです。しかし、私たちと毎日交流する中で、カナダには色々な人種の人たちがいることを学び、カナダに対して抱いていた固定観念を取り除いてくれたのです。こうして出会った日本人の高校生は、いまでも手紙をくれ、その時経験し、学んだことを友だちに話しているそうです。

(間違いた考えを)私は将来、JETプログラムで日本へ行って働きたいと思っています。日本は単一国家で、外国人は人口の1.5%しかいないそうです。ですから、私は日本へ行き、世の中には、私のように宗教も肌の色も違う家族がいる家庭で育つ人もいるということを子どもに教えてあげたいと願っています。その子たちが若いうちに異文化意識を持ち、他の国への知識を深め、グローバルな人間になれるようお手伝いができたら嬉しく思います。

まちがいをおそれないでください

子供の時、私は、まちがえることがとてもこわかったです。小さい時、私は母と住んでいました。ある日、おてっだいでいて、おさらをわってしまいました。私は、母にとってもおこられたので、それから、いつでも私はまちがえることがこわかったです。

そして、十二さいの時に私は父の家にひっこしました。父は、私がまちがえても、おこりませんでした。「だれでもまちがえるんだから、はずかしくない」と言ってくれました。それでも、私は父をかなしませたくなかったので、まちがえることがずっとこわかったです。

私は十七さいで母になりました。子どもが生まれた時、私は祖母の家にはいました。赤ちゃんは小さくて弱かったです。それは、それまでで一番まちがえることがこわかった時でした。ある日、私は、赤ちゃんのつめを切っていて、ゆびさきを切ってしまいました。赤ちゃんは、泣きました。私も、私におこって泣きました。祖母は、「二度とおなじまちがいをしないようにしなさい！」と静かに言いました。

その時、私は、三つのことに気がつきました。一つ目は、まちがえることはこわくないということです。祖母は「まちがいから学びなさい。そして、前に進みなさい」と言いました。私はおちついて、子どものきずがあさいことに気がつきました。そして、新しいつめの切り方をおぼえました。このたいけんから、私はまちがえてもパニックにならなかつたら、かいけつすることができると気がつきました。それから、私は、まちがえることがこわくなくなりました。

二つ目は、私はもう子どもじゃないということです。私は母になりましたが、まだ子どもでした。母のせきにんをわかっていませんでした。大人は、自分で問題をかいけつしなければなりません。祖母のことばを聞いた時、私はほんどうの母になりました。私は、子どものために物事をきめなければなりません。そして、まちがえたら、かいけつすることは、母のせきにんです。

三つ目は、まちがいは、人生のレッスンだということです。まちがえることは、人生の一部です。まちがいは、人に生き方を教えることができます。私は、むすこが二さいの時に、トイレの使いかたを教えました。それは、とてもたいへんでした。むすこはぜんぜん覚えなかったからです。むすこは習うことにつかれて、私は教えることにつかれました。私のまちがいは、正しい時をえらばなかつたことでした。私は、教えることをやめて、時が来るまで待って、やさしく教えることができました。正しい時を待つことは、私の人生のレッスンでした。

みなさんは、まちがいをおそれないでください。私達はまちがいから、学ぶことができますから。ほかの人がまちがえたら、おこらないでたすけてあげてください。まちがいは、私達をかしこくしてくれるのですから。まちがいは、人生のレッスンだということを覚えておいてください。

無関心は幸せをもたらさない

今年の始めに、日本の架け橋プロジェクトで日本に一週間行きました。滞在中、現在の日本の外交について、日本政府の方の講義を聞く機会があり、現在日本は国際地位と軍事の面で他のアジアの国々から様々な挑戦があり、より強い軍事力を持つ必要があるということを知りました。

しかし、この日本の現状についてどう思うのかと何人か大学の日本人の友人に聞いてみたところ、ほとんど政治に関心がないからあまり分からないという答えが返ってきました。

私はこれは不思議なことだと思い、非常に気になって、インターネットで調べました。総務省の統計によると、2017年の衆議院選挙の投票率は53.68%しかありませんでした。つまり、約一億人の選挙権を持つ人の半数近く、五千万人ほどの国民が投票しなかったわけです。とりわけ、二十代の若者の投票率は低く33.85%しかありませんでした。あるウェブサイトの記事によると、この日本の若者が「政治的無関心」の状態になってしまう原因は、まずは自分が幸せになり、次に周りの人を幸せにし、最後に日本、そして世界を平和にするという考えがあるそうです。

この状態は私は非常に悲しいことだと思います。自分の日常、そして政治に関心を持ち投票することは、自分が住んでいる社会、そして自分の国の進むべき道を決める大事なことからです。

私の出身は台湾です。私が今まで出会った台湾人は皆台湾の政治に関心を持っていて、親しい相手とは必ず政治の話をするほどです。台湾の中央選挙委員会によると、過去二十年の大統領選挙の全国投票率は毎回70%以上だそうです。2016年には66.27%まで下がりましたが、若者の投票率は74.5%に及び、日本と比べると、非常に高いことが分かります。

しかし、何故台湾人は、とりわけ台湾の若者はこのように政治に熱心なのでしょう。それは外からの強い圧力があるためで、台湾人には自由な選挙ができるのは貴重な権利であり、そして、毎回の選挙は台湾の運命を決める大事なことからです。また、歴史的には日本による統治、そして現在でも続く中国との関係などから、今なお残るナショナル・アイデンティティの問題もあります。今の台湾人の若者は過去のことの影響されず、ただ台湾人として台湾の未来を自分で決めたいという信念を持っているのです。また、我々のような力がない一般人には投票することは唯一の自分の声を届ける方法だからです。

先ほど述べたように、今、外交上の挑戦のため日本の軍事力を強くするべきかどうかをめぐる議論が続いているそうです。私は外国人ですから日本が軍事力を強くするべきかどうか分かりません。それは日本人が自分で決めるべきことです。しかし、この議題は日本のみならず、アジア、また世界の平和にも関わることなのです。政治への無関心の結果、世界が平和でなくなったら、日本の平和も維持できず、そして、周囲や個人の幸せなど無視保てません。

政治は決して自分の生活と無関係なことではないのです。今日本の若者がすべきことは、自分の生活、また自分の周りの人の生活と政治との関連を見つけることです。例えば、就職難でつらいと思ったら、社会をどのように変えたいのか、政府に何をしたいのかをきちんと考え、そして投票で自分の意見を届けることです。このように身近な問題から始めることが、幸せへの第一歩です。そこから少しずつ視野を広げていくうちに、今の軍事力の議題などが日本にどのような影響を与えるのか、そして自分の生活とは決して無関係ではないことが分かるようになるでしょう。

## 日本社会の残業問題

みなさんこんにちは！私はアリサ・グオと申します。みなさんは、去年日本で話題になった長時間労働で過労死をした NHK 記者を知っていますか？ 今残業問題が日本社会では深刻になっているようです。実は、去年の三月に日本政府が残業時間の上限規制に関する報告書をまとめました。この報告書では、残業時間の上限は一ヶ月 45 時間で、特例として一ヶ月 100 時間まで認めています。けれども、現在日本では、社会の現状と政府が求めている目標との大きなズレが生じています。私は、大多数の人は残業を減らしたいと当然考えているのかと思いましたが、残業してもいいと考えている人もたくさんいるようです。一つの例は、去年の夏休みに日本に行った時、ホームステイ先のお兄さんが毎日自発的に朝 9 時からその日の深夜一時まで残業をしていました。「仕事が終わらせられない自分が許せない」と言っていました。しかし、悪いのは本当にお兄さんでしょうか。彼のせいではなくて、仕事量が多すぎるからだと思います。将来日本の企業で働きたいと思っている私はこういう現実を見て、興味を持ち、少し日本社会の残業の現状について調べてみました。

まず、日本社会の残業の現状は厳しいです。データによると、8.8%の人が政府の報告書に書かれている 45 時間の残業の上限を超えています。そして 2.1%の回答者が 100 時間以上残業しています。これは政府の報告書が規定した最上限の残業時間を超えています。つまり、約 10%の人が長すぎる残業をしていることが分かります。また、2017年に行なわれた「労働時間の増減」に関する調査結果が示したのは労働時間を今より減らしたいと希望している人が全体の 43.4%を占めているということです。それに対し、今のままでいいと考えている回答者が 48.6%で、最多でした。逆に 8%の人が今より残業を増やしたいと言っています。これは社会が目指している方向と合っていないと思います。

では、なぜそういう考えを持っている人もいるのでしょうか。厚生労働省が 2015 年に行った過労死に関する調査結果によると、最も多い回答は「時間外に顧客の要求に対応する必要がある」と「業務量が多い」でした。実は同じ理由で私の母は、北京の職場で残業をしています。日本ほどではありませんが、母は残業に苦勞して、疲れています。私は残業を減らすべきだと思います。だからこうして、皆さんにお話ししています。企業にとって、長い残業に頼っている企業の生産性と効率性は低いと思います。残業の現状に対し、私が考えて、辿り着いた解決策は管理職の評価方法を変えることです。「部下の残業時間」を上司の業務評価のマイナス項目に組み込んだら、管理者は自分が高い評価を得るために、部下の残業を減らすでしょう。

残業問題は日本社会の文化や価値観とも繋がっているので、そう簡単に解決できる問題ではないかもしれませんが、やはり何とかしたいんです。皆さんもこれから社会人になって、そういう残業問題にもぶつかると思います。今はまだ少し早いですけれども、特に私のように、日本で働きたいと思っている皆さん自身がこの問題を考える日はそう遠くないと思います。自分の能力を効率よく生かせる環境づくりを私の世代で望みたいのです。

私たちのたどり着くべき場所

私は今 UBC 文学部に所属しています。様々な専攻を試してみましたが、自分が興味を持てるのは歴史と文学しかありませんでした。ゆえに今は Asian Studies を専攻として勉強しています。

しかし、UBC では、文学部の人、何故かよく他の学部の人々にバカにされます。「そんな専攻じゃ、まともな仕事をみつかるとはわかんないだろう。」「文学部？スタバのバリスター予備軍と呼ぶべきじゃない？」周りの人にこのような冗談を言われるのは珍しくないです。ですが、冗談とは言え、バカにされる度に、自分の心の中で決意と覚悟が揺らぐのを確かに感じていました。

私は文学部だけではなく、他の学部、他の専攻の人にもきっと私と同じ経験した事があるに違いないと思います。学生は誰でも自分が今やっている事、選んだ道に疑問があるはず。「この専攻は果たして自分に向いているのか、向いてないのか？」「この道の先に明るい未来が保証されているのか、されていないのか？」「自分の努力と決意が報われる日が来るのか、来ないのか」そして、「自分のたどり着くべき所、自分の本当の居場所は処なのか？そこにたどり着くためには自分は何をすべきなのか？」。大学生である以上、これらの疑問と不安を避けて通るのは不可能だと思われれます。故に、私たちは常にその答えを探さなければならないのです。

答えを探すとは言え、人によってその過程も大きく異なります。UBC の学生の中には、既にしっかりと将来の夢を持っている人々もいます。彼らはまるで生まれた日からそれが運命だったかのように自分達を夢中にさせる何かを見つけ、それを目標として迷わず歩んでいるようです。私はそういう人達を見る度に、彼らに人生のレースに負けているような気がして、嫉妬と悔しさしか感じませんでした。他には、自分の将来に疑問と不安を抱いているけど、積極的に自分の道を探そうとしている学生もいます。彼らは未だに自分のやりたいことがまだ見つからないのかもしれませんが、違う専攻の授業を取ったり、インターンに行ったり、就活をして、近い将来に自分の進むべき道を見つけ、いつかたどり着くべき場所にたどり着くのだらうと思います。彼らは新しい領域に踏み込む勇気と精力があるのです。

そして最後に、彼らの中にポツンと私がいるのです。私はただ私のままで、先の事を何も考えようともせず、ただ目の前の、自分が楽しんでいる事しかやっていないのです。そんな自分に腹を立つ時期もありました。

もちろん、私は周りの人のように頑張ろうともしました。ですが、自分が Asian Studies にしか向いてないという結論にたどり着くには、2 年間ほどかかりました。そして、その過程の中で私はもう一つ理解した事があります、それは、将来のために焦らなくてもいいということです。なぜなら、人生は正しい道を選ぶ事じゃなく、自分の前にある道を正しく歩む事だと思うからです。いくら自分が今やっている事に自信と覚悟があっても、5 年先、10 年先のことは誰にも予測できません。将来のことばかり心配していると、人は一歩も歩けなくなってしまいます。故に、私たちは目の前の事に専念すればいいと思うのです。あやまちをおかしてもいい、行き先を間違えてもいい、私たちが今まで歩んできた道で積み上げてきた物は、決して無駄ではありません。私たちはこれからも立ち止まらずに未来に向かって、一歩でも進もうとしている限り、決して人生を無駄になんてしていません。

そうです！私たちにたどり着く場所なんてありません。

ただ進み続けるだけでいいのです。

そして止まらない限り、私たちの道は未来へと開かれていくでしょう。